

## ■将来人口推計

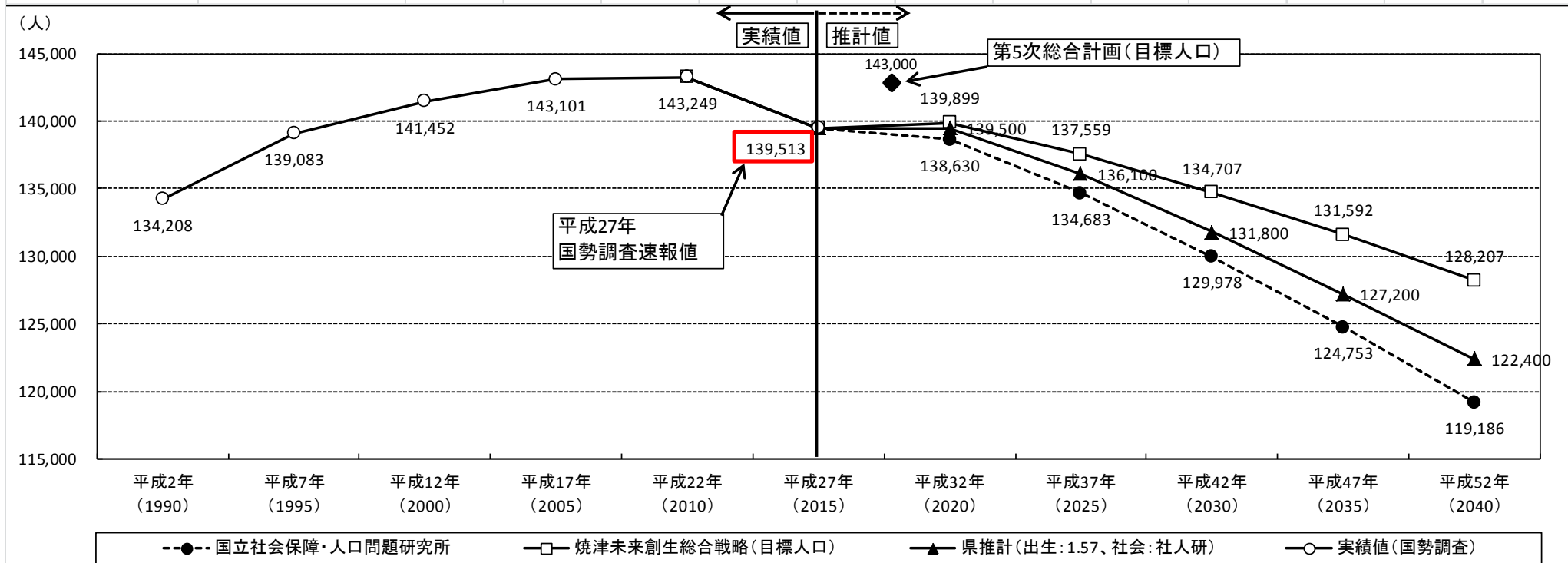
区分	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成30年 (2018)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)
国立社会保障・人口問題研究所					143,249	141,540		138,630	134,683	129,978	124,753	119,186
第5次焼津市総合計画(目標人口)							143,000					
焼津未来創生総合戦略(目標人口)					143,249	142,453		139,899	137,559	134,707	131,592	128,207
静岡県の将来人口推計 (コーホート要因法)	(出生:1.57、社会:社人研)					142,000		139,500	136,100	131,800	127,200	122,400
	(出生:1.57、社会:0)					142,800		141,000	137,900	134,100	129,700	124,900
	(出生:2.0、社会:社人研)					142,000		140,400	138,400	135,600	132,400	128,800
	(出生:2.0、社会:0)					142,800		141,800	140,400	138,000	135,000	131,600
実績値(国勢調査人口)	134,208	139,083	141,452	143,101	143,249	139,513						

※国立社会保障・人口問題研究所の推計値は、平成25年3月推計の値。

※第5次焼津市総合計画は平成23年3月策定。

※焼津未来創生総合戦略は平成27年10月策定。

※静岡県の将来人口推計は平成25年12月推計。平成22年の国勢調査人口を基準人口として推計。



・既計画において、第5次焼津市総合計画の目標人口を除く他計画では、将来人口が減少する推計をしている。

・H27の国勢調査の速報値と他計画の推計値を比較すると、いずれの計画の推計値よりも国勢調査の速報値は低く、人口減少のペースが推計よりも速いことが分かる。

・そのため、将来人口の設定について、H27国勢調査の速報値を考慮したうえで、設定する必要があると考えられる。